

# 西部公民館だより

発行 西部公民館  
 神ノ郷町吉町田12-1  
 TEL:68-7233

## 12月の事業実績と1月事業計画

日程	行事名称	実績	備考
12/18(日)	公民館役員会(消火・通報・避難訓練・清掃・反省会)	済	
1/4(土)	新春百人一首大会	済	
1/15(水)	楽しい子供クッキング教室	中止	
1/15(土)	子どもニュースポーツ大会	済	
1/25(土)	すこやか講座(10)料理教室	開催予定	

※楽しい子供クッキングはコロナ感染状況を鑑み保健センターと協議の上中止しました。

## 西部小学校マラソン大会



本年も12月15日(木)西部小学校マラソン大会が開催されました。全員が最後まで走りぬき完走できました。本年は、大会記録を5年生の男子2人が更新しました。来年は更に記録更新が期待できそうです。

## 交通少年団年末セーフティーコール

冬休みに入った12月26日(月)交通少年団の6年生メンバーが昨年に引き続き西部小南側のT字路でドライバーに対し安全運転の呼びかけをおこないました。



## 新春百人一首大会

1月4日(水)に新春百人一首大会を公民館和室3部屋を会場に開催しました。本年も藤田由美先生に読み手をお願いしました。児童参加者を6チームに分けて競技を実施しました。先生方も観戦に訪れ児童の熱戦を見守っていました。熱戦の後は、PTA、子供会の役員さんがお汁粉を用意してくれていましたので皆でおいしくいただきました。PTA、子供会役員、先生方、御協力ありがとうございました。(初めの内はキョロキョロ)最後に、ここで一首 **これや此の行くも帰るも別れては・・・さて下の句は？**



(手が3ツツ重なっています)



(熱戦を終えて表彰)



(表彰の後はお汁粉を頂きます)

## 子どもニュースポーツ



(1年生でも上手に投げられます)



(表彰の様子)



(どまん中の中3本でました)

1月15日(日)西部公民館において子供ニュースポーツ大会を開催。今回は直前のコロナ感染の関係で児童出席者が減少し少人数での開催となりましたが教頭先生、校長先生も参加され無事開催することができました。昨年もダーツを開催しており経験者も数名居ましたが1年ぶりの挑戦ですのではほぼ全員素人でした。市職員、スポーツ推進員の協力、指導のもと皆さん楽しむことができたと思います。

スポーツ推進員の方の話では、西部地区が一番上手だとお褒めの言葉を頂きました。結果は 1位 岡田 妃莉 392点 2位 東口 瑠那 383点 3位 河井 幸代 310点

## くるりんバスルート変更に関するお知らせ

公民館だより7月号でもお知らせしておりました「みかんの丘くるりんバス」柏原延伸に関して正式決定し令和5年4月1日(土)よりルート変更、運行日数拡大、運行ダイヤが変更になります。

- 変更内容①ルート 柏原西、柏原公民館の2停留所が追加、門前、下門前停留所廃止  
 ②運行日数拡大 変更前 火・木・土曜日 ⇒ 変更後 火・木・金・土曜日運行  
 ③各停留所発着時間の変更が発生します。

※変更後のルート、ダイヤ改正に関して現時点改正版が完成しておりません、今後広報等で周知されるはずですので確認をお願いします。尚公民館にも資料が配布され次第設置します。

## 令和5年NHK大河ドラマ『どうする家康』放映中の豆知識Ⅰ

### お田鶴（椿姫）に関して

NHK大河ドラマ『どうする家康』のキャストがインターネットに載っており、その中にお田鶴の名が有ったので公民館の資料を参考に『たより』に乗せました。又この文章は、主に平成29年2月19日中日新聞東三河版の『蒲郡生まれの女城主』の記事を参考にしています。内容の出自については異説・諸説有ります。

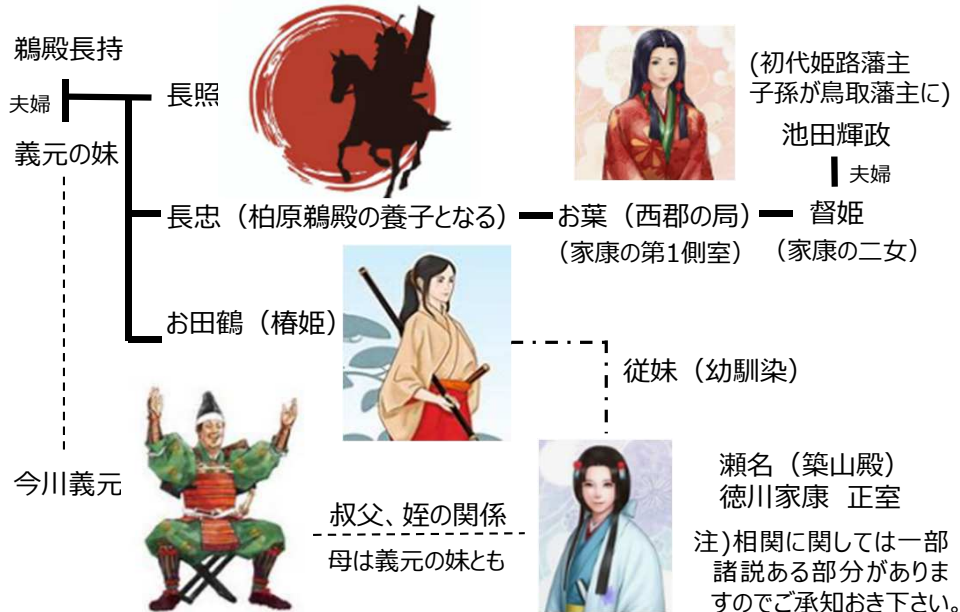
お田鶴の方の生年は不明ですが16世紀半ば三河・上ノ郷城主の主、鶴殿長持の娘と言われ、母は今川義元の妹とも。後に遠江の曳馬城の飯尾家へ嫁ぎ、夫連龍の死後は実質的な城主となった。家康に降伏を促されるも拒否し勇戦して討ち死、非業の死を遂げます。お田鶴の存在は、江戸中期に編纂された『鶴殿家史』の家系図に記されているようで戦国大名の今川義元の家臣だった鶴殿長持の娘で『飯尾豊前守致実室』書かれているそうです。この家史を書いた鶴殿長春は鳥取藩の家老で学者でもあったので信憑性は高いと言われています。

お田鶴は現在の浜松市中区元浜町で討ち死にしたようで、家康の正室の築山御前(瀨名)がその死を悼み、百本余りのツバキを植えて供養したとか。そのあたりから『椿姫』と謳われるのでしょうか。

お田鶴の人生は、夫連龍との死別で劇的に変わります。桶狭間の戦いの後、今川家と三河の徳川家康に挟まれ飯尾家は揺れ動き、幼少の息子に代わり、正室のお田鶴の方が城主を務めたようです。『三河後風土記』によると『降伏すれば安全は保証する』と家康から誘われたものの、お田鶴の方が拒否。1568年には、ついに家康軍が曳馬城に攻め寄せてきた。同じ『風土記』では『かの妻は防戦の指揮をなし(中略)長刀ふるって敵中に切り入る。(中略)その志操の節烈は丈夫にもまさりたりと感ぜぬものなし』とある。男にも勝る戦いぶりで大軍に立ち向かい、18人の侍女とともに壮絶な最期を遂げたと伝わる。1562年には、お田鶴の方の兄の鶴殿長照(上ノ郷城主)も家康に滅ぼされており、兄妹で同じ運命をたどったこととなります。

悲劇から460年近く。毎年1月23日に椿姫観音では例大祭が行われている。

(お田鶴の戦いは、どうする家康1話で取り上げられることがガイドブックに出ています) (小林)



## 令和5年NHK大河ドラマ『どうする家康』放映中の豆知識Ⅱ

今回は、蒲郡市立形原北小学校PTA編『いたずら地蔵』より転載『忍者の城攻め』です。  
(1月号よりの続きです)

城の外では、松平の若い大将がじっとしておれず、城をながめてはいたりきたりしている。「四郎兵衛はあんな大きなことを言っていたが、まことに城にしびこむことができたのか。・・・やっ、あれはにわたりの声だ。」目をこらして、じっと城を見ると、赤いほのおがちろちろと舌を出して城が燃え上がりはじめた。若い大将は、おどろき上り、「城が燃えているぞ。いっしょにおしよせて、城をおしつぶしてしまえ。」と大声で叫んだ。息をこらしてまぢかまえていた松平軍は、どっと城に攻めかかった。おどろいたのは城の中の人々であった。「うらぎり者だ。」「たいへんだ、火薬庫にも火が付いたぞ。」はじめは、ただ、あわてさわぎまわるばかりであった。しかし松平の軍がおしよせるのを見ると、ただちに、城を守るかまをそとのおえ始めた。そこへ、松平の軍がぶつかった。火の粉をあび、ほのおで真っ赤に顔をこがして、城の人々は戦った。しかし上ノ郷の軍はしだいに、松平の軍にじりじりおされ、つぎつぎに火の中へ倒れこんでいった。



火が城のすべてにまわり、ほとんどの建物がやけ落ちるころ、鶴殿の大将、長照は、もうこれまでと残りの兵を集め、城の外へうって出た。人と人がぶつかり、うずになり、そのうずの中に、鶴殿の兵はのみこまれていったのである。

それから一時、長照は城の東方にある安楽寺坂までにげのびてきた。刀の刃はこぼれ、従う兵は数人しかいない。いっしょに勇ましく戦っていたふたりの子どもともはぐれてしまった。長年住みなれた上ノ郷の城は燃え尽きてしまった。

長照は、歯をギリギリかんでくやしがつた。しかし追ってきた松平の兵はわずかであった。この敵なら切りぬけて、今川までたどりつくことができる。気をとり直し、刀をふりあげた長照の目に、新しい松平の軍が勢いよくせまってきたのがうつった。



鶴殿をたおした松平の若い大将は、後に、徳川家康となり、日本全国を平定して江戸(今の東京)に幕府をひらいた。

長照は、安楽寺東の安楽寺坂でうたれた。土地の人々は、この坂を、鶴殿坂とよんだ。鶴殿坂でころぶと、そのけがは一生なおらないと、人々は、長い間おそれ続けた。ここで命をおとした、長照のうらみがこもっている・・・。

### 公民館からのお知らせ

① 1月19日(木)西部公民館に中日新聞蒲郡通信局の西山記者が訪れ上ノ郷城に関する話、鶴殿氏関係の情報を小林館長にインタビューして行かれました。中日新聞東三河版に一月末までの間に掲載される予定です。本号発行前での掲載となりますので見逃した方は再度新聞を広げて読んでみてみてください。



(インタビューを受ける小林館長)

② 12月1日より民生児童委員が交代になりました。

新しい民生児童委員は①大森 敏子さん(山本・神東) ②酒井 みゆきさん(門前・向山)になります。皆さんご承知おき下さい。旧役員 小林 民子さん、大森 弥生さんお疲れさまでした。